

資料2

上下水道料金徴収一元化について

1 上下水道料金徴収一元化とは

これまで、千葉県水道局給水区域の上下水道料金は、水道料金は県水道局、下水道使用料は千葉市が徴収をしていましたが、問い合わせ窓口の一本化等による利用者の利便性向上や徴収事務の合理化を図るため、本年1月から、千葉県水道局による上下水道料金の一括請求を開始しました。

2 調定及び収納の状況

下水道使用料徴収率の推移（5月末現在）

（単位：千円）

	現年度分			過年度分			合計		
	調定額	収納額	徴収率	調定額	収納額	徴収率	調定額	収納額	徴収率
27年度	14,421,106	14,202,276	98.5%	1,944,610	1,367,878	70.3%	16,365,716	15,570,154	95.1%
28年度	14,386,478	14,180,612	98.6%	1,887,145	1,341,906	71.1%	16,273,623	15,522,518	95.4%
29年度	15,570,235	15,391,932	98.9%	1,839,606	1,309,603	71.2%	17,409,841	16,701,535	95.9%

（1）現年度分調定額

平成29年度の現年度分調定額は、155億7,023万円と前年度比11億8,376万円の増となりました。これは、本年1月からの徴収一元化により、下水道使用料の調定月が従来より1か月早まったことから、一元化初年度の29年度は調定が13か月分になったことによります。

【検針月と調定月】

検針月	28年度		29年度	
	水道	下水道	水道	下水道
12月検針	12月調定	1月調定	12月調定	1月調定
1月検針	1月調定	2月調定	1月調定	
2月検針	2月調定	3月調定	2月調定	
3月検針	3月調定	4月調定	3月調定	

※一元化により、従来、翌年度の調定だった3月検針分が、29年度の調定になりました。

（2）徴収率

平成29年度の下水道使用料徴収率は、現年度分が98.9%と、前年度と比較して0.3ポイント向上し、過年度分を含めた全体では95.9%で、同様に0.5ポイント向上しています。

これは、徴収一元化実施前の29年4月から29年12月までの月平均が98.7%に対して、一元化後は99.8%と1.1ポイント向上しており、一元化の効果により、現年度分の徴収率が向上したものと考えています。

これにより、平成30年度の徴収率は、現年度分が99.8%、過年度分を含めた全体では、平成29年度を0.8%上回る96.7%を見込んでいます。

3 徴収一元化参加市の拡大

本年1月に開始した4市（千葉市、市原市、成田市、鎌ヶ谷市）に加え、33年1月からは、船橋市、市川市、松戸市、浦安市、印西市、白井市の6市が一元化を実施することになりました。

（これにより一元化未実施は習志野市のみとなります。）

本市としても、千葉県及び関係11市で組織している「徴収一元化協議会」の会長市として、さらには徴収一元化の先行市として、その効果や実施に向けての留意点など 情報提供を行い、参加市の拡大による、一括徴収業務の安定化を図りたいと考えています。